



令和5年12月17日

仙台管区気象台

仙台で初積雪を観測

12月17日、仙台で初積雪を観測しました。

平年より 6日遅く (平年は 12月11日)

昨年より 3日遅い (昨年は 12月14日) 観測です。

参考資料

1 初雪とは

雪などの固形降水(霧雪、みぞれ、吹雪、細氷、雪あられ、ひょう、氷あられ、凍雨を含む)が露場(ろじょう)の半分以上を覆った場合、積雪がある状態として観測します。

「初積雪」は秋から春に至る期間に初めて積雪を観測した日です。

2 観測方法

観測は目視によって行います。観測単位は「日」となります。

3 これまでの観測記録

仙台管区気象台では1926年(大正15年)から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録(最早): 2002年11月10日(平成14年)

一番遅い記録(最晩): 2016年 1月11日(平成28年)

問合せ先: 仙台管区気象台気象防災部 観測整備課

担当: 毛利 電話: 022-297-8106